



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日
東

上場会社名 日東富士製粉株式会社 上場取引所
 コード番号 2003 URL <https://www.nittofuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 佳久
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 坂田 喜章 (TEL) 03-3553-8781
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	42,651	△2.4	3,659	△5.8	4,020	△3.7	2,820	△1.8
2020年3月期第3四半期	43,713	6.0	3,885	20.9	4,173	20.7	2,871	7.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,863百万円(△2.3%) 2020年3月期第3四半期 2,931百万円(13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	616.09	—
2020年3月期第3四半期	627.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,312	38,683	76.8
2020年3月期	49,541	36,867	74.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 38,638百万円 2020年3月期 36,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	106.00	—	116.00	222.00
2021年3月期	—	114.00	—		
2021年3月期(予想)				103.00	217.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△2.7	4,100	△10.2	4,600	△7.4	3,300	△2.5	720.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	4,692,364株	2020年3月期	4,692,364株
2021年3月期3Q	113,986株	2020年3月期	113,820株
2021年3月期3Q	4,578,452株	2020年3月期3Q	4,578,710株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Next Future 2020」を策定し、事業戦略として「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、特色ある製品の開発や、美味しさと健康を基軸とした商品開発に取り組んでおります。

当社グループの第3四半期の業績につきましては、売上高は、外食向け小麦粉及びミックス粉や贈答菓子用の小麦粉を中心に若干減少し、426億5千1百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益面では、全社一丸となり効率化を進め、外食事業も堅調に推移しましたが、経常利益は40億2千万円（前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益28億2千万円（前年同期比1.8%減）となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	43,713	42,651	△1,061	△2.4%
営業利益	3,885	3,659	△226	△5.8%
経常利益	4,173	4,020	△153	△3.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,871	2,820	△50	△1.8%

〔セグメント別営業概況〕

① 製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	37,861	36,002	△1,858	△4.9%
営業利益	3,561	3,293	△268	△7.5%

「製粉及び食品事業」につきましては、売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、外食向け小麦粉及びミックス粉や贈答菓子用の小麦粉を中心に減少したことにより、前年同期比4.9%減の360億2百万円となり、営業利益につきましても、動力費等のコストは削減できたものの、32億9千3百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

② 外食事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	5,735	6,544	808	14.1%
営業利益	167	192	25	15.1%

「外食事業」の㈱さわやか（当連結対象期間1月～9月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店のテイクアウト等による販売が好調だったことにより、売上高は前年同期比14.1%増加し65億4千4百万円となりました。営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加により、1億9千2百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

③ 運送事業

(単位：百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,575	1,519	△56	△3.6%
営業利益	132	152	19	14.9%

「運送事業」の日東富士運輸㈱につきましては、売上高は、前年同期比3.6%減少し15億1千9百万円となりました。営業利益は、燃料費が低水準に推移したことや、配送の効率化を行ったことにより、1億5千2百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年12月期	比較
流動資産	24,382	25,435	1,052
固定資産	25,158	24,877	△281
資産計	49,541	50,312	770
流動負債	9,234	8,126	△1,107
固定負債	3,440	3,502	61
負債計	12,674	11,628	△1,046
純資産	36,867	38,683	1,816
負債・純資産計	49,541	50,312	770

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ7億7千万円増加し、503億1千2百万円になりました。

流動資産は254億3千5百万円で、受取手形及び売掛金等が増加した一方、短期貸付金（キャッシュ・マネジメント・システムによる実質的な現金及び現金同等物）や現金及び預金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ10億5千2百万円増加しました。固定資産は248億7千7百万円で、減価償却等によって有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億8千1百万円減少しました。この結果、資産合計は503億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千万円増加しました。

流動負債は81億2千6百万円で、支払手形及び買掛金や1年内返済予定の長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億7百万円減少しました。固定負債は35億2百万円で、繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ6千1百万円増加しました。この結果、負債合計は116億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億4千6百万円減少しました。

純資産は利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億1千6百万円増加し、386億8千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.5%増加して 76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年度を最終年度とする中期経営計画「Next Future 2020」において、事業戦略として「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、特色ある製品の開発や、美味しさと健康を基軸とした商品開発に取り組んでおります。

「製粉及び食品事業」につきましては、国内市場は少子高齢化や、人口減少による需要の後退が販売競争を一段と激化させており、価格競争力の一段の強化等が喫緊の課題となっております。

「外食事業」では、業界内での競争激化と消費者の節約志向が続くなか、各店舗に合わせた効果的な事業運営が必要とされています。また、消費者の食の安全・安心に対する意識も一段と高まっており、これに応える店舗運営にも注力してまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、当社グループを取り巻く環境は大きく変化していますが、「原料調達・製造・販売・開発・物流」が一体となり、徹底した効率の追求と競争力の強化に取り組むとともに、三菱商事グループ各社との連携強化や、㈱増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果をさらに増加させることにより、この変化を業績拡大へ繋げるべく最大限努力してまいります。さらに、海外戦略として、ベトナムの子会社(NITTO-FUJI INTERNATIONAL VIETNAM CO., LTD.)及びタイの子会社(Nitto Fuji International (Thailand) Co., Ltd.)を通じてアジア地域での事業拡大にも努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285	1,176
受取手形及び売掛金	7,623	9,017
商品及び製品	2,335	2,415
原材料及び貯蔵品	5,184	5,227
短期貸付金	7,348	7,068
未収還付法人税等	5	—
その他	605	534
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	24,382	25,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,205	4,947
機械装置及び運搬具（純額）	3,329	3,207
土地	4,836	4,802
その他（純額）	468	598
有形固定資産合計	13,840	13,555
無形固定資産		
のれん	81	65
その他	528	507
無形固定資産合計	610	573
投資その他の資産		
投資有価証券	8,051	8,073
差入保証金	648	751
退職給付に係る資産	1,559	1,470
繰延税金資産	161	180
その他	342	329
貸倒引当金	△56	△58
投資その他の資産合計	10,708	10,747
固定資産合計	25,158	24,877
資産合計	49,541	50,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,788	4,224
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	252	—
リース債務	0	0
未払法人税等	643	606
賞与引当金	576	390
役員賞与引当金	46	24
その他	2,426	2,379
流動負債合計	9,234	8,126
固定負債		
繰延税金負債	2,427	2,488
役員退職慰労引当金	77	82
退職給付に係る負債	307	315
資産除去債務	430	430
リース債務	4	4
その他	193	180
固定負債合計	3,440	3,502
負債合計	12,674	11,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	27,153	28,940
自己株式	△292	△293
株主資本合計	33,410	35,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,625	3,635
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△1	△11
退職給付に係る調整累計額	△219	△180
その他の包括利益累計額合計	3,404	3,441
非支配株主持分	51	45
純資産合計	36,867	38,683
負債純資産合計	49,541	50,312

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	43,713	42,651
売上原価	32,620	31,726
売上総利益	11,093	10,925
販売費及び一般管理費		
販売手数料	436	451
販売運賃	1,844	1,869
貸倒引当金繰入額	△1	0
給料及び手当	1,790	1,740
賞与引当金繰入額	110	271
役員賞与引当金繰入額	22	24
退職給付費用	57	88
役員退職慰労引当金繰入額	15	18
のれん償却額	15	16
その他	2,916	2,785
販売費及び一般管理費合計	7,207	7,265
営業利益	3,885	3,659
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	115	104
固定資産賃貸料	138	206
その他	61	91
営業外収益合計	324	410
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	—	11
支払補償費	12	—
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	6	8
その他	13	26
営業外費用合計	36	49
経常利益	4,173	4,020

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	141
投資有価証券売却益	0	9
貸倒引当金戻入額	—	0
保険差益	—	44
特別利益合計	2	195
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	32	25
減損損失	6	79
投資有価証券評価損	0	0
特別損失合計	39	105
税金等調整前四半期純利益	4,136	4,111
法人税、住民税及び事業税	1,158	1,266
法人税等調整額	92	16
法人税等合計	1,251	1,283
四半期純利益	2,885	2,828
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,871	2,820
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	9
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	5	△12
退職給付に係る調整額	△16	39
その他の包括利益合計	46	35
四半期包括利益	2,931	2,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,919	2,857
非支配株主に係る四半期包括利益	12	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について、収束時期等を予測することは困難ではありますが、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績等に与えた影響は軽微と判断しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合等、今後の状況変化により、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,852	5,734	126	43,713	—	43,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	1	1,449	1,459	△1,459	—
計	37,861	5,735	1,575	45,172	△1,459	43,713
セグメント利益	3,561	167	132	3,862	23	3,885

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、収益性が低下しており、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において6百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,996	6,543	111	42,651	—	42,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1	1,407	1,414	△1,414	—
計	36,002	6,544	1,519	44,066	△1,414	42,651
セグメント利益	3,293	192	152	3,638	20	3,659

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「製粉及び食品事業」セグメントにおいて、当社の東京都大田区にある社有社宅の売却決定に伴い、売却予定資産となったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該資産の減損損失を計上しております。

「外食事業」セグメントにおいて、収益性が低下しており、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において79百万円であります。